

授業過程における著作物のインターネット送信等 に係る実態及び意向調査報告

2020年2月

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS)

調査概要

■調査名称

授業過程における著作物のインターネット送信等に係る実態及び意向調査

■調査目的

本調査は、2018年度改正著作権法により導入された授業目的公衆送信補償金制度の運用開始に当たり、学校現場の授業過程における著作物のインターネット送信等に係る実態と意向を把握することを目的とする。

■調査期間

2019年6月～8月

■調査対象

全国の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、高等専門学校、大学、短期大学、専門学校、高等専修学校、専修学校一般課程、特別支援学校、各種学校、各種教育機関のなかから無作為に抽出した4,562校

■調査方法

WEBアンケート。過去1年間（2018年4月1日～2019年3月31日）の状況

■有効回答数

1,429件（31.3%）

回答者属性

■教育機関等の種別・国公立別

校 種	国 立	公 立	私 立	計	%
小学校・義務教育学校	1	205	23	229	16.0%
中学校・中等教育学校	2	194	39	235	16.4%
高等学校	2	277	60	339	23.7%
高等専門学校	36	1	1	38	2.7%
大学	64	20	150	234	16.4%
短期大学	0	9	34	43	3.0%
専門学校	1	12	45	58	4.1%
高等専修学校	0	0	4	4	0.3%
専修学校一般課程	0	0	5	5	0.3%
特別支援学校	10	203	1	214	15.0%
各種学校	1	0	11	11	0.8%
その他	0	0	0	19	1.3%
計	116	921	373	1,429	100.0%

■教育機関等の履修者数

履修者数	件 数	%
50人まで	136	9.5%
100人まで	134	9.4%
200人まで	191	13.4%
500人まで	365	25.5%
1,000人まで	356	24.9%
2,000人まで	99	6.9%
5,000人まで	68	4.8%
10,000人まで	53	3.7%
20,000人まで	19	1.3%
50,000人まで	6	0.4%
50,001人以上	2	0.1%
計	1,429	100.0%

回答者属性

■都道府県別

都道府県名	件数	%
北海道	95	6.6%
青森県	26	1.8%
岩手県	25	1.8%
宮城県	36	2.5%
秋田県	18	1.3%
山形県	7	0.5%
福島県	32	2.2%
茨城県	46	3.2%
栃木県	25	1.8%
群馬県	25	1.8%
埼玉県	26	1.8%
千葉県	50	3.5%
東京都	127	8.9%
神奈川県	39	2.7%
新潟県	34	2.4%
富山県	7	0.5%

都道府県名	件数	%
石川県	18	1.3%
福井県	17	1.2%
山梨県	22	3.7%
長野県	27	1.9%
岐阜県	16	1.1%
静岡県	39	2.7%
愛知県	75	5.2%
三重県	32	2.2%
滋賀県	18	1.3%
京都府	25	1.8%
大阪府	53	3.7%
兵庫県	61	4.3%
奈良県	24	1.7%
和歌山県	12	0.8%
鳥取県	3	0.2%
島根県	21	1.5%

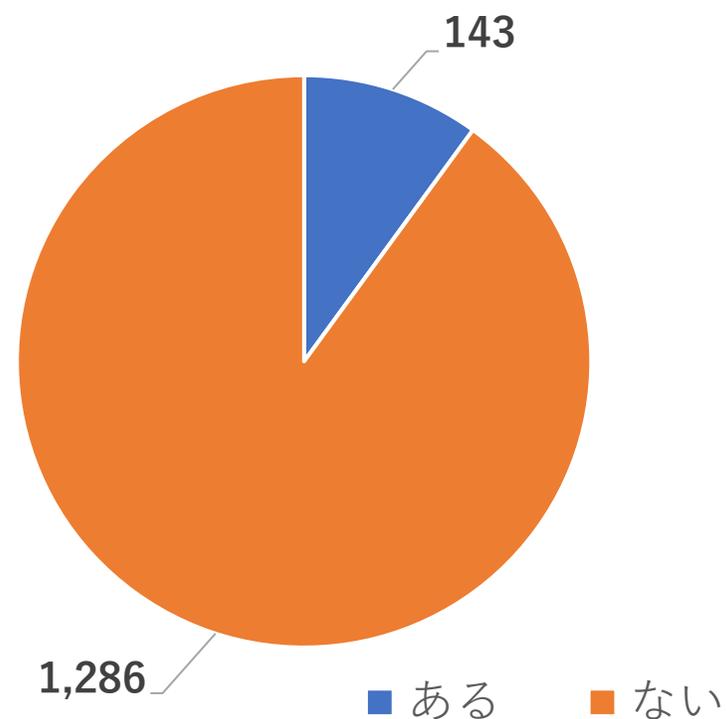
都道府県名	件数	%
岡山県	30	2.1%
広島県	45	3.2%
山口県	20	1.4%
徳島県	14	1.0%
香川県	15	1.0%
愛媛県	22	1.5%
高知県	23	1.6%
福岡県	48	3.4%
佐賀県	13	0.9%
長崎県	29	2.0%
熊本県	43	3.0%
大分県	6	0.4%
宮崎県	11	0.8%
鹿児島県	20	1.4%
沖縄県	9	0.6%
計	1,429	100.0%

調査結果【著作物利用の許諾の経験の有無】

Q2-1 授業・講座等の過程において使用するために、他人の著作物を用いて作成した授業等用教材や他人の著作物そのものを利用した際に、著作権者本人や著作権団体等の「許諾」を得た経験の有無をお答えください

(n = 1,429)

	件数	%
ある	143	10.0%
ない	1,286	90.0%
計	1,429	100.0%

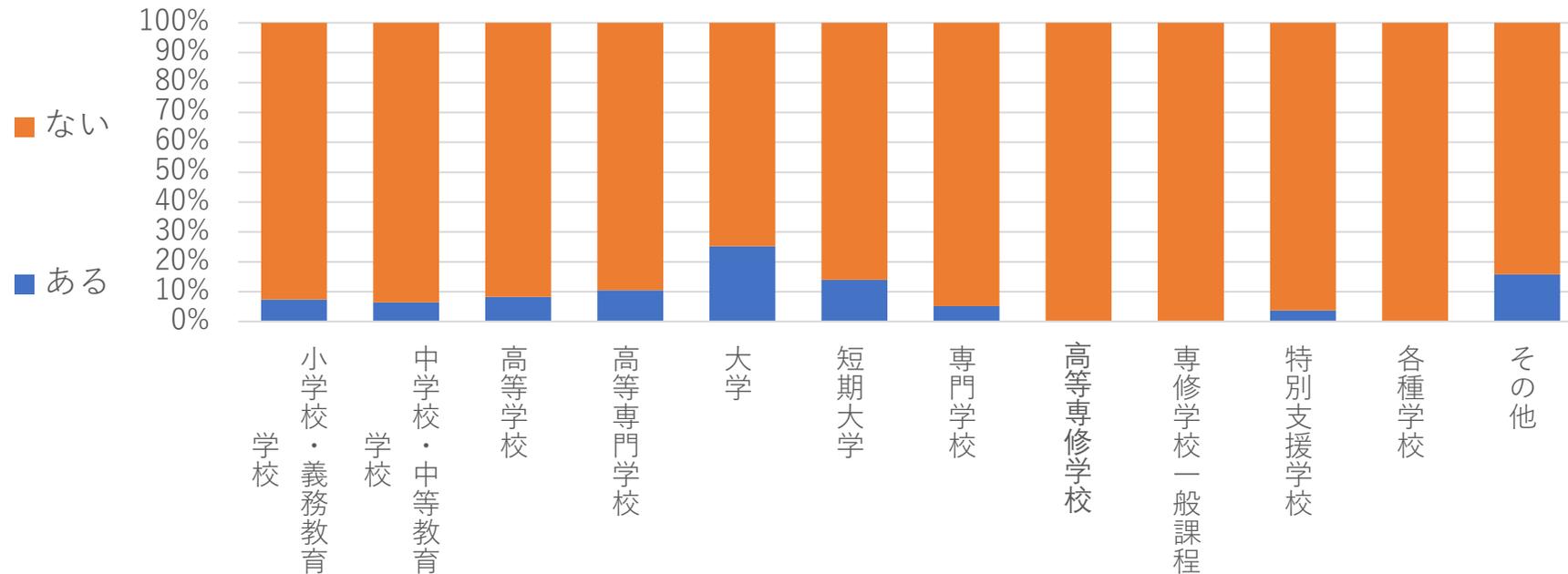


調査結果【著作物利用の許諾の経験の有無】

Q2-1②

(n = 1,429)

	小学校・義務教育学校	中学校・中等教育学校	高等学校	高等専門学校	大学	短期大学	専門学校	高等専修学校	専修学校一般課程	特別支援学校	各種学校	その他
ある	17	15	28	4	59	6	3	0	0	8	0	3
ない	212	220	311	34	175	37	55	4	5	206	11	16
計	229	235	339	38	234	43	58	4	5	214	11	19



調査結果【公衆送信以外の利用】

Q2-2 授業・講座等の過程において使用するために、著作権者本人や著作権団体等の「許諾」を得て利用を行った経験について、以下の①～③から該当するものをひとつ選んでください

注：本問は、Q2-1で、公衆送信以外と公衆送信の両方、または公衆送信以外か公衆送信のいずれかの許諾を得た経験があると答えた143件に対する質問です。（比率は全回答数（1,429件）に対する比率です）

(n = 1,429)

	件数	%
①許諾を得た経験があり、利用内容の全部または一部を集計又は把握している	83	5.8%
②許諾を得た経験はあるものの、全く利用内容を集計していない、又は容易に把握できない	51	3.6%
③公衆送信以外の利用方法について、許諾を得た経験はない	9	0.6%

調査結果【公衆送信以外の利用】

Q2-2-1 以下の著作物から許諾を得た経験があるものを最大3つまで選んでください（複数選択可）

(n = 83)

種類	件数	%
教科書や教材でに掲載されている著作物	14	16.9
専門書（学術書等）に掲載されている著作物	12	14.5
文藝等一般書籍（小説、詩、エッセイ等）に掲載されている著作物	8	9.6
新聞に掲載されている著作物（記事、コラム・社説、写真等）	13	15.7
雑誌に掲載されている著作物	2	2.4
脚本	6	7.2
学術論文	8	9.6
講演資料	1	1.2
音楽（演奏）	13	15.7
音楽（配信されたものやCD、レコード等の音源）	8	9.6

種類	件数	%
楽譜	9	10.8
美術作品	3	3.6
グラフィック・デザイン（含イラスト・挿絵）	5	6.0
地図	1	1.2
映画、ビデオ	8	9.6
テレビ番組	2	2.4
写真	3	3.6
コンピュータプログラム（有償のもの）	2	2.4
その他	8	9.6

調査結果【公衆送信以外の利用】

Q2-2-1②

(n = 83)

種 類	小学校・義務教育学校	中学校・中等教育学校	高等学校	高等専門学校	大学	短期大学	専門学校	高等専修学校	専修学校一般課程	特別支援学校	各種学校	その他
教科書や教材に掲載されている著作物	2	0	1	1	7	1	0	0	0	0	0	2
専門書（学術書等）に掲載されている著作物	1	0	1	1	8	0	0	0	0	0	0	1
文藝等一般書籍（小説、詩、エッセイ等）に掲載されている著作物	2	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0
新聞に掲載されている著作物（記事、コラム・社説、写真等）	1	1	3	1	5	0	0	0	0	1	0	1
雑誌に掲載されている著作物	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
脚本	1	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
学術論文	0	0	0	1	5	2	0	0	0	0	0	0
講演資料	0	0	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0
音楽（演奏）	2	1	3	0	6	0	0	0	0	1	0	0
音楽（配信されたものやCD、レコード等の音源）	0	1	0	0	5	1	0	0	0	1	0	0
楽譜	1	2	3	0	2	0	0	0	0	1	0	0
美術作品	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0
グラフィック・デザイン（含イラスト・挿絵）	0	1	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0
地図	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
映画、ビデオ	0	0	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0
テレビ番組	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
写真	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0
コンピュータプログラム（有償のもの）	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	3	0	2	0	0	0	0	1	0	0

調査結果【公衆送信以外の利用】

Q2-2-2-1 許諾を得て利用した著作物の数をお答えください

(n = 83)

種 類	1つ	~5つ	~10	~100	~200	~500	~1000	1001~
~~教科書や教材でに掲載されている著作物	7	1	0	0	1	0	0	0
専門書（学術書等）に掲載されている著作物	3	2	1	1	0	0	0	0
文藝等一般書籍（小説、詩、エッセイ等）に掲載されている著作物	1	4	0	1	0	0	0	0
新聞に掲載されている著作物（記事、コラム・社説、写真等）	5	3	3	0	0	0	0	0
雑誌に掲載されている著作物	0	1	0	0	0	0	0	0
脚本	3	1	2	0	0	0	0	0
学術論文	0	3	0	1	0	0	0	0
講演資料	4	3	1	0	0	0	0	0
音楽（演奏）	3	4	0	2	1	0	0	0
音楽（配信されたものやCD、レコード等の音源）	5	2	0	0	0	0	0	0
楽譜	2	5	0	0	0	0	0	0
美術作品	1	0	0	1	0	0	0	0
グラフィック・デザイン（含イラスト・挿絵）	2	3	0	0	0	0	0	0
地図	1	0	0	0	0	0	0	0
映画、ビデオ	5	2	0	0	0	0	0	0
テレビ番組	2	0	0	0	0	0	0	0
写真	0	0	2	1	0	0	0	0
コンピュータプログラム（有償のもの）	0	1	1	0	0	0	0	0
その他	3	4	1	0	0	0	0	0

調査結果【公衆送信以外の利用】

Q2-2-2-3 具体的な著作物の利用例を右記の①～⑥で該当するものを選択してください

種 類	①	②	③	④	⑤	⑥
～教科書や教材でに掲載されている著作物	6	0	0	0	0	3
専門書（学術書等）に掲載されている著作物	2	1	0	0	1	4
文藝等一般書籍（小説、詩、エッセイ等）に掲載されている著作物	0	1	0	0	0	7
新聞に掲載されている著作物（記事、コラム・社説、写真等）	2	1	0	0	1	6
雑誌に掲載されている著作物	0	0	0	0	1	0
脚本	0	0	1	2	0	4
学術論文	2	1	0	0	0	1
講演資料	0	0	2	0	0	5
音楽（演奏）	0	0	1	0	0	8
音楽（配信されたものやCD、レコード等の音源）	1	0	1	0	0	6
楽譜	0	2	0	2	0	2
美術作品	0	0	0	0	0	2
グラフィック・デザイン（含イラスト・挿絵）	0	0	0	0	0	3
地図	0	0	0	0	0	1
映画、ビデオ	0	0	0	0	0	7
テレビ番組	0	0	0	0	0	2
写真	1	0	0	0	0	1
コンピュータプログラム（有償のもの）	0	1	0	0	0	1
その他	1	0	0	0	0	7

【授業等における具体的な著作物の利用の一例（「許諾」が必要な例）】

①ワークブックやドリル等、本来なら学生等一人ひとりが購入すべき教材を複製して授業で使用した

②書籍や論文等を一部ではなく、全部を複製して授業で使用した

③講演会や発表会、演奏会等の様子を録画して、複製したメディア（DVD等）を学生等や保護者に配布した

④サークル活動で使用するために著作物をメンバー分複製した

⑤保護者会の資料に著作物を掲載した

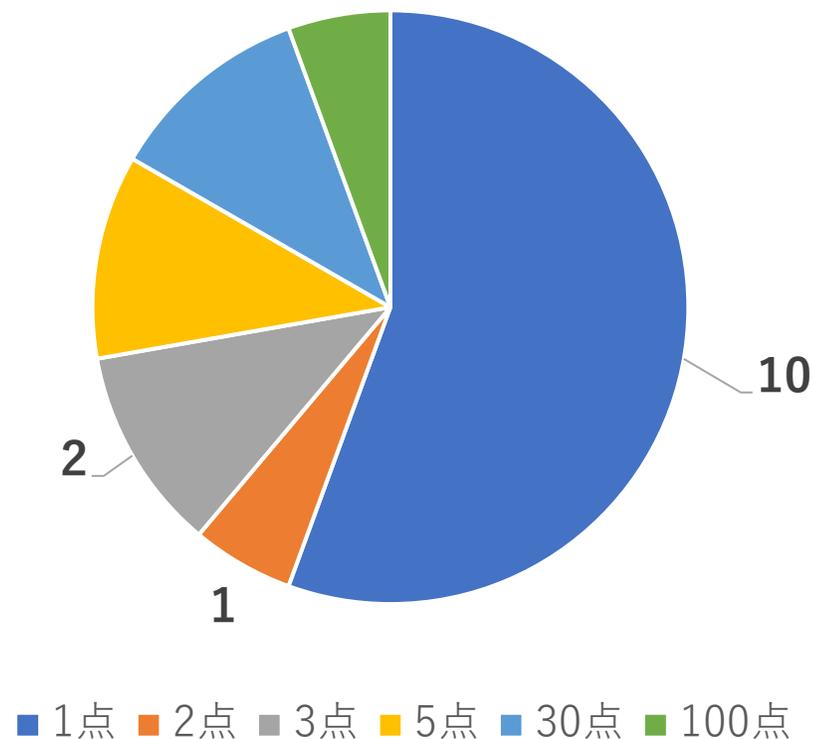
⑥その他

調査結果【公衆送信以外の利用】

Q2-2SQ 1回の授業等を実施するにあたり、引用にあたらぬ形で、他人の著作物を平均何点利用しましたか？

(n = 18)

	件数	%
1点	10	55.5%
2点	1	5.6%
3点	2	11.1%
5点	2	11.1%
30点	2	11.1%
100点	1	5.6%
計	18	100.0%



調査結果【公衆送信利用】

Q2-3 授業・講座等の過程において使用するために、著作権者本人や著作権団体等の「許諾」を得て利用を行った経験について、以下の①～②から該当するものをひとつ選んでください

注：本問は、Q2-1で、公衆送信以外と公衆送信の両方、または公衆送信以外か公衆送信のいずれかの許諾を得た経験があると答えた143件に対する質問です。（比率は全回答数（1,429件）に対する比率です）

(n = 1,429)

	件数	%
①許諾を得た経験があり、利用内容の全部または一部を集計又は把握している	47	3.3%
②公衆送信の利用について、許諾を得た経験がない	96	6.7%

調査結果【公衆送信利用】

Q2-3-1 以下の著作物から許諾を得た経験があるものを最大3つまで選んでください。 (n = 47)

種類	件数	%
教科書や教材でに掲載されている著作物	14	29.8%
専門書（学術書等）に掲載されている著作物	11	23.4%
文藝等一般書籍（小説、詩、エッセイ等）に掲載されている著作物	4	8.5%
新聞に掲載されている著作物（記事、コラム・社説、写真等）	9	19.1%
雑誌に掲載されている著作物	1	2.1%
脚本	1	2.1%
学術論文	8	17.0%
講演資料	6	12.8%
音楽（演奏）	6	12.8%
音楽（配信されたものやCD、レコード等の音源）	0	0.0%

種類	件数	%
楽譜	2	4.3%
美術作品	0	0.0%
グラフィック・デザイン（含イラスト・挿絵）	7	14.9%
地図	0	0.0%
映画、ビデオ	2	4.3%
テレビ番組	1	2.1%
写真	8	17.0%
コンピュータプログラム（有償のもの）	0	0.0%
その他	7	14.9%

調査結果【公衆送信利用】

Q2-3-1② 以下の著作物から許諾を得た経験があるものを最大3つまで選んでください。(n = 47)

種類	小学校・義務教育学校	中学校・中等教育学校	高等学校	高等専門学校	大学	短期大学	専門学校	高等専修学校	専修学校一般課程	特別支援学校	各種学校	その他
教科書や教材でに掲載されている著作物	1	2	2	1	4	2	1	1	0	0	0	0
専門書（学術書等）に掲載されている著作物	0	0	1	0	8	0	1	0	0	0	0	1
文藝等一般書籍（小説、詩、エッセイ等）に掲載されている著作物	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
新聞に掲載されている著作物（記事、コラム・社説、写真等）	1	0	2	0	3	2	0	0	0	0	0	1
雑誌に掲載されている著作物	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
脚本	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術論文	0	0	1	0	6	1	0	0	0	0	0	0
講演資料	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0
音楽（演奏）	1	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
音楽（配信されたものやCD、レコード等の音源）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楽譜	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
美術作品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グラフィック・デザイン（含イラスト・挿絵）	0	0	1	0	5	0	0	0	0	1	0	0
地図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
映画、ビデオ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
テレビ番組	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
写真	0	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0
コンピュータプログラム（有償のもの）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0

調査結果【公衆送信利用】

Q2-3-2-1 許諾を得て利用した著作物の数をお答えください

(n = 47)

種 類	1つ	~5つ	~10	~50	~100	~200	~500	~1000	1001~
~~教科書や教材でに掲載されている著作物	4	3	0	1	0	0	0	1	0
専門書（学術書等）に掲載されている著作物	3	4	0	0	0	0	0	0	1
文藝等一般書籍（小説、詩、エッセイ等）に掲載されている著作物	1	1	1	0	0	0	0	0	0
新聞に掲載されている著作物（記事、コラム・社説、写真等）	6	1	0	0	0	0	0	0	0
雑誌に掲載されている著作物	1	0	0	0	0	0	0	0	0
脚本	1	0	0	0	0	0	0	0	0
学術論文	1	1	1	1	0	0	0	0	1
講演資料	1	3	0	2	0	0	0	0	0
音楽（演奏）	2	1	1	0	0	0	0	0	0
音楽（配信されたものやCD、レコード等の音源）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楽譜	0	0	0	1	0	0	0	0	0
美術作品	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グラフィック・デザイン（含イラスト・挿絵）	3	1	1	0	1	0	0	0	0
地図	0	0	0	0	0	0	0	0	0
映画、ビデオ	0	0	1	1	0	0	0	0	0
テレビ番組	1	0	0	0	0	0	0	0	0
写真	1	0	0	2	1	1	0	0	0
コンピュータプログラム（有償のもの）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	1	0	1	0	0	1	0

調査結果【公衆送信利用】

Q2-3-2-3 具体的な著作物の利用例を右記の①～⑧で該当するものを選択してください

種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
～教科書や教材でに掲載されている著作物	4	3	2	1	0	0	1	1
専門書（学術書等）に掲載されている著作物	1	2	1	1	0	0	3	3
文藝等一般書籍（小説、詩、エッセイ等）に掲載されている著作物	3	1	1	0	0	0	0	0
新聞に掲載されている著作物（記事、コラム・社説、写真等）	2	1	1	0	0	0	0	2
雑誌に掲載されている著作物	0	0	0	0	0	0	1	0
脚本	0	0	0	0	0	0	0	0
学術論文	0	1	1	1	0	0	1	3
講演資料	1	3	2	1	0	1	3	1
音楽（演奏）	0	1	0	0	0	0	0	0
音楽（配信されたものやCD、レコード等の音源）	0	0	0	0	0	0	0	0
楽譜	0	0	0	0	0	0	0	0
美術作品	0	0	0	0	0	0	0	0
グラフィック・デザイン（含イラスト・挿絵）	0	0	0	0	0	0	0	0
地図	0	0	0	0	0	0	0	0
映画、ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0
テレビ番組	0	0	0	0	0	0	0	0
写真	0	0	0	0	0	0	0	0
コンピュータプログラム（有償のもの）	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

【授業等における具体的なインターネット送信の一例】

- ① 授業時に学生等のPCやタブレット端末への資料送信を行った（学生等から教師に送信する場合を含む）
- ② 授業の予習や復習のための教材送信を行った
- ③ 学生等がダウンロードできるように学生等がアクセスできる共通フォルダへのアップロードを行った
- ④ 当該学校内の教員及び受講者が広くアクセスできる共通フォルダへのアップロードを行った
- ⑤ 著作物を使用してリアルタイムの配信授業を行った（受信校からも映像や著作物を送信した）（双方向型）
- ⑥ 著作物を使用してリアルタイムの配信授業を行った・受けた（一方向型）
- ⑦ 著作物を使用してオンデマンド型の配信授業を行った
- ⑧ その他

調査結果【今後の見通し】

Q3-1 インターネット送信を伴うどのような利用方法で授業等が行われることになると思いますか。見込まれると考えられる方法を選択ください。（複数選択可）また、その中でも特に見込まれると思われる方法を1つ選択してください

(n = 1,429)

	見込まれる	%	特に見込まれる	%
■授業等の準備段階				
予習復習のための教材送信	627	43.9%	68	4.8%
授業等担当教員及び履修者のみがアクセスできる共通フォルダへのアップロード	728	50.9%	106	7.4%
当該教育機関内の教員及び履修者が広くアクセスできる共通フォルダへのアップロード	394	27.6%	26	1.8%
■自校履修者に対する対面授業				
授業等時に電子機器（パソコン、タブレット、スマホ等）への資料送信（送信者は教員・履修者のいずれであるかを問わない）	791	55.4%	166	11.6%
■遠隔地等他校や自宅校外にいる履修者に対する授業				
一方の授業を他方の会場に同時中継する授業における著作物の送信（双方向行われる場合を含む）	290	20.3%	21	1.5%
配信側に生徒等がいないところで、教師等が他校の教室等にいる履修者に向けて行う著作物の送信	182	12.7%	7	0.5%
授業等を一旦収録して、後日他校や自宅等校外にいる履修者に向けて配信する授業等	341	23.9%	30	2.1%
計	959	67.1%	424	29.7%

調査結果【今後の見通し】

Q3-1② インターネット送信を伴うどのような利用方法で授業等が行われることになると思いますか。見込まれると考えられる方法を選択ください。（複数選択可）

(n = 1,429)

	小学校・義務教育学校	中学校・中等教育学校	高等学校	高等専門学校	大学	短期大学	専門学校	高等専修学校	専修学校一般課程	特別支援学校	各種学校	その他	計
■授業等の準備段階													
予習復習のための教材送信	84	97	164	26	156	19	18	0	2	56	0	4	627
授業等担当教員及び履修者のみがアクセスできる共通フォルダへのアップロード	113	104	180	31	174	19	18	2	2	75	2	8	728
当該教育機関内の教員及び履修者が広くアクセスできる共通フォルダへのアップロード	65	62	94	18	87	9	12	1	0	44	0	2	394
■自校履修者に対する対面授業													
授業等時に電子機器（パソコン、タブレット、スマホ等）への資料送信（送信者は教員・履修者のいずれであるかを問わない）	139	137	198	29	143	18	20	1	1	95	3	7	791
■遠隔地等他校や自宅校外にいる履修者に対する授業													
一方の授業を他方の会場に同時中継する授業における著作物の送信（双方向行われる場合を含む）	40	35	58	13	90	2	3	0	0	42	0	2	290
配信側に生徒等がいないところで、教師等が他校の教室等にいる履修者に向けて行う著作物の送信	25	25	40	9	54	2	1	0	1	23	1	1	182
授業等を一旦収録して、後日他校や自宅等校外にいる履修者に向けて配信する授業等	46	62	69	13	91	6	6	0	1	44	1	2	341

調査結果【今後の見通し】

Q3-1③ インターネット送信を伴うどのような利用方法で授業等が行われることになると思いますか。特に見込まれると思われる方法を1つ選択してください

(n = 1,429)

	小学校・義務教育学校	中学校・中等教育学校	高等学校	高等専門学校	大学	短期大学	専門学校	高等専修学校	専修学校一般課程	特別支援学校	各種学校	その他	計
■授業等の準備段階													
予習復習のための教材送信	9	4	25	1	20	1	2	0	1	5	0	0	68
授業等担当教員及び履修者のみがアクセスできる共通フォルダへのアップロード	7	13	18	9	45	5	2	0	0	7	0	0	106
当該教育機関内の教員及び履修者が広くアクセスできる共通フォルダへのアップロード	4	2	9	3	1	1	0	0	0	6	0	0	26
■自校履修者に対する対面授業													
授業等時に電子機器（パソコン、タブレット、スマホ等）への資料送信（送信者は教員・履修者のいずれであるかを問わない）	41	38	41	1	12	3	2	1	0	23	1	2	166
■遠隔地等他校や自宅校外にいる履修者に対する授業													
一方の授業を他方の会場に同時中継する授業における著作物の送信（双方向行われる場合を含む）	3	2	3	2	4	1	0	0	0	5	0	1	21
配信側に生徒等がないところで、教師等が他校の教室等にいる履修者に向けて行う著作物の送信	2	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	7
授業等を一旦収録して、後日他校や自宅等校外にいる履修者に向けて配信する授業等	3	6	4	1	10	0	0	0	0	0	0	6	30

調査結果【今後の見通し】

Q3-1SQ【Q3-1「遠隔地等他校や自宅等校外にいる履修者に対する授業」のいずれかの利用方法で「特に見込まれる」又は「見込まれる」と回答した方にのみお伺いします。】

遠隔地等他校や自宅等校外の履修者に対する授業等が可能になると、どのような面で効果があるとお考えになりますか。当てはまるものをすべて選択してください。（複数選択可）

(n = 432)

	件数	%
病気療養履修者の教育	282	65.3%
不登校履修者の教育	284	65.7%
学習進度の相違を解消するための補習	169	39.1%
教員の残業時間縮減	68	15.7%
同一教育機関設置者の教育機関間の教育格差の縮減	53	12.3%
地域（都道府県等）間格差の縮減	47	10.9%
他校で先進的な授業等を行っている教員の授業を受けられる	140	32.4%
免許外教科担任の支援	61	14.1%
小規模校における授業等の質向上	84	19.4%
分校等の関連施設での教育	60	13.9%
その他	37	8.6%

調査結果【今後の見通し】

Q3-2 Q3-1で、公衆送信を伴う利用の見込みが「特に見込まれる」又は「見込まれる」と回答した利用方法について、利用が見込まれる著作物は、どのような種類のものとお考えになりますか。以下の中から、該当する著作物の種類をすべて選んでください（複数選択可）

(n = 959)

種類	件数	%
教科書や教材に掲載されている著作物	781	81.4%
専門書（学術書等）に掲載されている著作物	438	45.7%
文藝等一般書籍（小説、詩、エッセイ等）に掲載されている著作物	330	34.4%
新聞に掲載されている著作物（記事、コラム・社説、写真等）	631	65.8%
雑誌に掲載されている著作物	385	40.1%
脚本	72	7.5%
学術論文	253	26.4%
講演資料	250	26.1%
音楽（演奏）	301	31.4%
音楽（配信されたものやCD、レコード等の音源）	383	39.9%

種類	件数	%
楽譜	268	27.9%
美術作品	294	30.7%
グラフィック・デザイン（含イラスト・挿絵）	249	26.0%
地図	428	44.6%
映画、ビデオ	316	33.0%
テレビ番組	334	34.8%
写真	577	60.2%
コンピュータプログラム（有償のもの）	116	12.1%
その他	29	3.0%

調査結果【今後の見通し】

Q3-2②前問Q3-1において、公衆送信を伴う利用の見込みが「特に見込まれる」又は「見込まれる」と回答した利用方法について、利用が見込まれる著作物は、どのような種類のものとお考えになりますか。以下の中から、該当する著作物の種類をすべて選んでください。（複数選択可）
(n = 959)

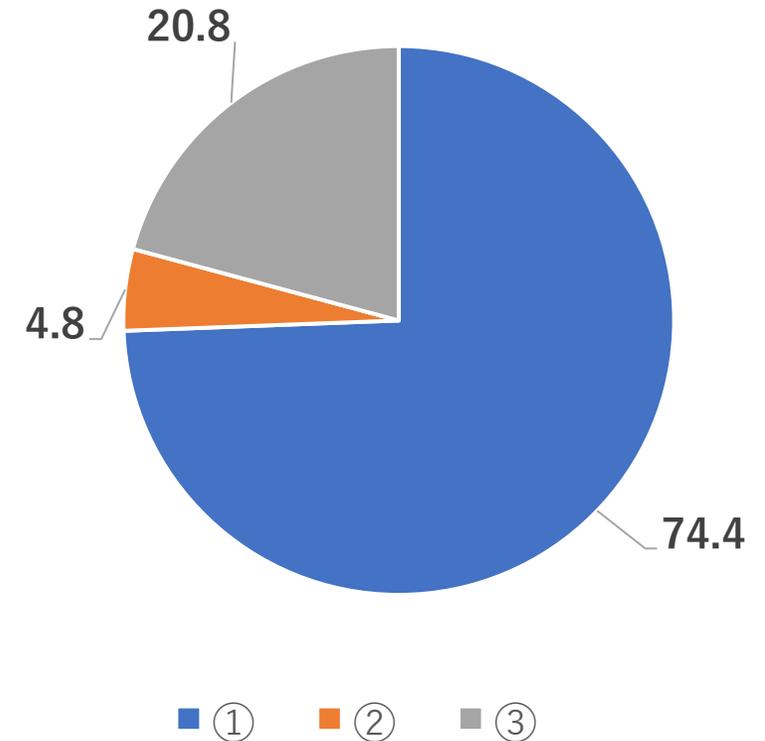
種 類	小学校・義務教育学校	中学校・中等教育学校	高等学校	高等専門学校	大学	短期大学	専門学校	高等専修学校	専修学校一般課程	特別支援学校	各種学校	その他
教科書や教材でに掲載されている著作物	146	136	201	25	135	15	17	1	2	94	2	7
専門書（学術書等）に掲載されている著作物	35	51	110	29	154	18	16	2	1	20	1	1
文藝等一般書籍（小説、詩、エッセイ等）に掲載されている著作物	45	56	88	9	80	8	5	0	0	35	1	3
新聞に掲載されている著作物（記事、コラム・社説、写真等）	110	107	170	16	122	19	17	1	0	60	2	7
雑誌に掲載されている著作物	42	62	100	13	103	9	11	1	0	40	1	3
脚本	13	17	15	1	22	1	1	0	0	1	1	0
学術論文	5	15	45	23	137	12	9	0	1	5	1	0
講演資料	16	27	57	14	97	9	6	1	1	20	1	1
音楽（演奏）	69	72	61	1	28	5	3	0	0	59	2	1
音楽（配信されたものやCD、レコード等の音源）	83	83	86	2	44	4	3	0	0	75	2	1
楽譜	63	72	67	1	30	6	2	0	0	23	1	3
美術作品	48	71	69	3	47	5	6	0	0	44	1	0
グラフィック・デザイン（含イラスト・挿絵）	41	58	57	5	41	3	4	1	0	35	2	2
地図	91	96	119	6	61	6	4	0	0	42	1	2
映画、ビデオ	45	55	65	8	77	8	8	0	0	47	2	1
テレビ番組	69	59	75	7	62	7	7	0	0	43	2	3
写真	118	103	130	10	101	14	11	0	0	82	3	5
コンピュータプログラム（有償のもの）	25	17	26	3	30	1	1	0	0	12	0	1
その他	1	0	7	1	10	2	0	0	0	6	0	2

調査結果【教材の共同利用】

Q5 ある教師が他人の著作物を使用して作成した教材や、複数の教師が共同で作成した教材を、作成に関わらない教師も利用したり、年度を超えて教師間で利用できるよう保存したりすること（「共同利用」と呼びます）があると思います。今後、教材がデジタル化されることで、そうした共同利用やそれに伴う教材の長期間の保存が進むとお考えになりますか（1つ選択）

(n = 1,429)

	件数	%
①その様な活用方法が進むと考える	1,064	74.4%
②その様な活用方法が進むとは考えない	68	4.8%
③分からない	297	20.8%
計	1,429	100.0%



調査結果【教材の共同利用】

Q5SQ そのような活用方法が進むとお考えの場合、その理由について、当てはまるものをすべて選択してください（複数選択可）

(n = 1,064)

	件数	%
同一年度内に同一教科の授業等を複数の教員が受け持つため、授業等内容を共通化する必要がある	612	57.5%
教員の異動に備え、年度をまたがっても同一教科の授業等内容を共通化する必要がある	565	53.1%
優れた教材であれば積極的に教育に活用すべきである	929	87.3%
教員の業務時間が縮減できる	717	66.8%
著作権の知識があり、権利者の許諾を得るための手続きができる人に任せたい	127	11.9%
その他	8	0.8%

調査結果【教材の共同利用】

Q5SQ-2 上記で「教員の異動に備え、年度をまたがっても同一教科の授業等内容を共通化する必要がある」を選択いただいた方にのみお伺いします。その場合、同一教材が使い回せる年数は何年くらいが望ましいとお考えになるか、お答えください（1つ選択）

(n = 565)

年数	件数	%
1年	40	7.1%
5年	426	75.4%
10年	79	14.0%
20年	4	0.7%
20年を超える	16	2.8%
計	565	100.0%

